資料３

福島県生涯学習基本計画
の進行管理について

～学び合い、支え合い、地域が輝く。
次世代へつなぐ　生涯学習社会ふくしま～

令和８年９月８日
福島県生涯学習課

施策１　人生 100 年時代を生きる学びの推進

＜施策の方向＞
（１）人生 100 年時代の学びの推進
（２）若い世代の「生きる力」を育む学びの推進
（３）支援が必要な方の学びの推進
（４）心身の健康づくりに向けた学びの推進

令和 7 年度の主な取組

（１）人生 100 年時代の学びの推進

◆　デジタルデバイド解消事業（デジタル変革課）【 2,455 千円】

高齢者の情報活用能力の習得・向上を支援し、ICT を活用した地域活性化の促進を図るため、市町村や会津大学、関係機関と協力して地域の高齢者のデジタルデバイド解消に向けた情報リテラシー向上教室を行う。

・スマホ教室を 15 町村計 29 回開催
・デジタルサポーターを 5 市町計 39 名認定

◆　県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【 0 千円】

県民の多様な学習ニーズや学習活動の広域化に対応していくため、県・市町村・高等教育機関、民間教育機関等が連携・協力し、県民が主体的、継続的に学習活動に取り組めるよう、生涯学習に関する情報や学習機会を提供する。

○県民カレッジ連携講座
（市町村・県庁（出先機関含む）主催講座（イベント）で１市町村に限定しない講座）
・講座数　1,531 講座　・参加者数　794,165 人
市町村講座（市町村民限定講座（イベント））
・講座数　4,563 講座　・参加者数　928,159 人
県民カレッジ情報ボックス利用（ヨークベニマル・公民館等への情報発信）8 団体（17 件）

◆　男女共生センター管理運営委託事業（啓発及び研修事業）（共生社会・女性活躍推進課）【 1,764 千円】

男女共同参画についての県民意識の変革を図るため、様々なアプローチ方法で各種事業を実施するとともに（啓発事業）、男女があらゆる分野に参画し、ともに責任を担うために必要な資質・能力の向上を図り、個人・家庭・地域等における取組が進むよう各種講座を開催する（研修事業）。

○未来館トークサロン　２回開催　30 名
○男女間における暴力の防止と被害者支援事業　１回開催　25 名
○ダイバーシティ理解促進事業　１回開催　31 名
○未来館エンパワーメント塾　２回開催　26 名
○教師のためのジェンダー平等推進セミナー　１回開催　38 名
○研修講師派遣事業
①職員派遣：11 回、717 名参加　②アドバイザー派遣：3 回、336 名参加　③情報提供 3 回
○市町村男女共同参画担当者研修　２回開催　70 名
○復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業　１回開催　59 名
○福島の未来を担う女性リーダー育成事業　２回開催　48 名

◆　**消費者行政体制強化事業（消費者教育事業）（消費生活課）【 49,356 千円】**

消費者被害の防止・救済のため、また、自主的かつ合理的に社会の一員として行動する自立した消費者の育成のため、学校や地域で活動する多様な主体と連携しながら出前講座等の消費者教育事業に取り組む。

○実績
- LINE 公式アカウントによる情報発信：毎月 2 回以上配信
- 高校生向け啓発パンフレット：19,000 部作成
- 高齢者向け啓発パンフレット：14,000 部作成
- 出前講座（教員向けも含む）：82 回実施
- 消費生活情報紙「くらしの情報」作成・配布：年 4 回発行
- 消費者問題ネットワーク構築事業：勉強会を 4 回開催

◆　**離職者等再就職訓練事業（産業人材育成課）【 298,557 千円】**

離職者等求職者の早期就職を支援するため、公共職業安定所から受講あっせんを受けた者に対し、事務分野や介護分野など多様な職業訓練を委託して実施する。国の委託事業。

○令和 7 年度実績
- 受講者　995 名　・修了者　771 名　・就職率　76.3%

○令和 6 年度実績
- 受講者　1,091 名　・修了者　863 名　・就職率　77.2%

◆　**ジョブ・カードの普及啓発（産業人材育成課）【 0 千円】**

委託訓練受講者等へのジョブ・カードの作成支援及び普及啓発を行う。

○令和 7 年度実績
- 委託訓練　890 件　・学卒訓練　96 件

○令和 6 年度実績
- 委託訓練　925 件　・学卒訓練　57 件

◆　**意識改革推進事業（雇用労政課）【 15,276 千円】**

伴走支援やセミナーにより、企業の経営者、担当者の意識を高めるとともに、働く女性向けのセミナーと個別相談窓口により、女性のキャリアアップを支援する。

○働く女性のキャリアアップ事業
- 働く女性のキャリアアップ支援セミナー
  9/26 郡山市（28 名参加）、10/10 いわき市（20 名参加）、11/13 会津若松市（27 名参加）
  ※　オンライン参加者を含む
- 働く女性向け個別支援相談窓口
  延べ相談者数 81 名（R8.3 月末時点）

○企業内担当者育成 WLB 推進塾（３回連続セミナー）
  10/22、11/18、1/16 郡山市（参加者延べ 19 名）

（2）若い世代の「生きる力」を育む学びの推進

◆　チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業（ふくしまキッズパワーアップ事業、「ふくしまの未来」へつなぐ体験活動応援事業）（社会教育課）【 96,780 千円】

東日本大震災の経験を踏まえ、子どもたちが充実した自然体験活動・震災学習等を行う機会を通して心身ともに健康で、豊かな人間性の育成を図るとともに、社会体験活動を通して、主体的に復興に寄与する、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図る取組を支援する。

○ふくしまキッズパワーアップ事業
　167 団体、9,262 名（3 月 31 日現在）
○ふくしまの未来へつなぐ体験応援事業
　・元気を届ける交流・体験事業　　1 団体　　・今を知り思いを伝える事業　　23 団体

◆　地域学校協働本部事業（地域学校協働活動補助事業）（社会教育課）【 62,615 千円】

地域の総合窓口として「地域コーディネーター」を配置し、学校の窓口として「地域連携担当教職員」を任命することで、地域と学校がパートナーとなって連携・協働していく組織的・継続的な体制を構築するための取組を支援する。

○実施市町村数
　・地域学校協働活動　28 市町村
　・家庭教育支援活動　 4 市町村

◆　ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト（情報発信プロジェクト）（社会教育課）【 458 千円】

中学生・高校生の自主的な読書活動推進や情報発信力の向上を目指し、中学生・高校生によるビブリオバトル福島県大会を開催する。ビブリオバトルを通じて、福島の元気を発信し、復興を担う人材の育成を図っていく。

　・日時　10 月 12 日（日）
　・場所　福島県立図書館　講堂
　・発表者　中学生 7 名（地区予選会参加中学生 42 名）
　　高校生 7 名（地区予選会参加高校生 33 名）
　・観戦者　174 名（地区予選会観戦者 727 名）

◆　インターンシップによるキャリア教育充実事業（高校教育課）【 335 千円】

インターンシップを実施することにより、早期に職業観、勤労観を醸成するとともにキャリア教育の推進を図る。そのため、受入企業との事前打合せや巡回指導を行う教員の旅費を支援する。

○実施校数、参加人数、訪問事業所数
　・実施校数　　34 校
　・参加人数　　3,491 人
　・受入事業所数　1,799 社
○本県における職場体験・インターンシップ実施状況等
　・令和 6 年度　57.5%（国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター調査）
　・令和 5 年度　64.6%（　　〃　　）

（３）支援が必要な方の学びの推進

◆　東京 2025 デフリンピック開催復興推進事業（スポーツ課）【 82,617 千円】

東京 2025 デフリンピックサッカー競技の県内開催を契機に、デフスポーツやろう者文化の理解促進・関心向上に資する機会を創出し、スポーツを通じた共生社会の実現に寄与するとともに、大会の認知度向上に関する取組を始めとした一連の取組を通じ、本県の復興状況や魅力を国内外へ発信し、復興の加速化及び風評払拭を図る。

機運醸成の取組
〇開催 200 日前にあわせた装飾
〇サッカー競技スペシャルサポーターの任命
〇東京 2025 デフリンピック 100 日前カウントダウンフェスタ「デフスポふくしま」の開催
・令和 7 年 8 月 9 日（土）、うすい百貨店【参加者 1,074 名】
・講演、トークイベント、手話体験等
〇東京 2025 デフリンピックサッカー競技開幕直前イベント
・令和 7 年 11 月 8 日（土）、とうほう・みんなのスタジアム
・エキシビジョンマッチ、ウォーキングフットボール体験、手話体験ブース等
〇手話に親しむ出前講座（保健福祉部実施）、県内の小中学校【実施校　50 校】
・子どもたちが手話に関心を持つ機会を提供するため、出前講座を実施
デフリンピック開催期間中の取組
〇オープニングセレモニー　令和 7 年 11 月 14 日（金）
〇サテライト開会式　令和 7 年 11 月 15 日（土）
〇子ども観戦招待【対象：県内の小中高生】
・サッカー競技観戦及び震災学習プログラムの実施等【参加数 32 校 2,080 名】
・エスコートキッズ 71 名参加、副賞ベアラー4 名参加
・おもてなしエリア（おみやげ・キッチンカーエリア）
・おもてなし周遊バス（伝承館直通バス）　483 名利用

◆　障がい者スポーツ振興事業（スポーツ課）【 19,518 千円】

障がい者の社会参加を図るため、県障がい者スポーツ大会を開催するとともに、障がい者スポーツ指導員の養成を行う。また、障がい者が日常的にスポーツに親しむ文化の創出、豊かなスポーツライフの創造を図るため、障がい者スポーツ施策を総合的に推進する。

〇第 63 回福島県障がい者スポーツ大会の開催（5/18（日）、5/25（日）、12 競技 793 名参加）
〇初級指導者養成講習会の開催（7/12（土）、7/13（日）、7/19（土）、14 名受講）
〇スポーツ教室の開催（運動導入教室：99 回、種目別スポーツ教室：80 回：12 種目）

◆　多文化共生推進事業（多文化共生きずな促進事業）（国際課）【 4,077 千円】

外国人住民が安心して生活できる環境づくりに向けて、関係団体と連携し、セミナーや外国人住民と地域が協働して行う講座等を通じて、県民へのやさしい日本語の普及促進を図る。

〇市町村や企業、関係団体と連携した日本語の普及促進に取り組んだ（R8. 3 月末）。
○　やさしい日本語セミナー：24 回
○　やさしい日本語普及員養成講座：4 回
○　防災講座、生活オリエンテーション：6 回
○　外国人住民と県民との交流イベント：1 回

◆　**ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業（特別支援教育課）【 34,570 千円】**

「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するため、市町村において、教育、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制の整備と研修の充実を図る。

○特別支援教育アドバイザー10 名配置（県内特別支援学校 10 校）就学等に関わる相談　等
○地域支援体制を戦略的に進める会議　事業担当者会議（年 4 回）
　4 月 9 日（火）、7 月 5 日（金）、1 月 10 日（金）、2 月 28 日（金）開催
○特別支援教育推進会議　委員 11 名　 5 月１０日（金）、1 月 27 日（月）開催

（4）心身の健康づくりに向けた学びの推進

◆　**チャレンジふくしま県民運動推進事業（文化振興課）【 29,754 千円】**

「人も地域も笑顔で元気なふくしま」を実現するため、健康、運動、食、文化等の関係団体が連携し、県民一人一人の日常的な健康づくりの実践のみならず、地域全体の盛り上がりにつながるよう、多方面から健康への気付きやきっかけづくりの提供等を行う。

○アートとウォーキングを組み合わせた取組「ふくしまアートウォーキング」を推進
　・9/1～3/1　ふくしまアートスタンプラリー（うちウォーキングラリー）
　・9/24～　　SNS を活用した情報発信
　・9/27～28　ふくしまアートウォーキング PR ブース出展（郡山市）
　・10/26　　ふくしまアートウォーキング PR イベント（会津若松市）
　・2/7　　ふくしまアートウォーキング PR イベント（いわき市）
○県民運動ポータルサイトにて、県内各地の健康づくりイベントを「県民運動イベント」として周知
　・県民運動イベント登録数(R8. 3 月末時点)　800 件

◆　**スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業（スポーツ課）【 13,040 千円】**

市町村と関係団体等に対し、地域スポーツの一体的な環境づくりをテーマに講演や分科会（意見交換会）等を実施する。また、子どもたちの夢や希望を育むためスポーツイベントを県内各地で開催するほか、スポーツボランティアの更なる育成による「ささえるスポーツ」文化の普及を図る。さらに、子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの充実に向けた支援を行うことで、新たな「福島県スポーツ推進基本計画」に基づく生涯スポーツ社会の実現を目指す。

○地域スポーツ推進会議
　・第 1 回地域スポーツ推進会議（4 月 22 日（火）、参加者 55 名）
　・第 2 回地域スポーツ推進会議（7 月 10 日（木）、参加者 34 名）
○輝け未来へ！スマイルスポーツ教室 in ふくしま
　・スカイスポーツ教室（6 月 1 日（日）、参加者　小学 4～6 年生と保護者 272 名）
　・ブレイクダンス教室（10 月 13 日（月）、参加者 31 名）
　・ブレイクダンス教室（11 月 30 日（日）、参加者 50 名）
○スポーツボランティア・レガシー事業
　・スポーツボランティア初任者研修　3 回　　参加者　202 名
　・初心者実践研修　5 月～3 月　県内各地
○リーダー研修（11 月 29 日（土）、参加者 18 名）
○総合型地域スポーツクラブ支援アドバイザー派遣事業
　・クラブ訪問等　4 月～3 月

令和８年度の取組予定

（1）人生 100 年時代の学びの推進

○継続事業

・県政 150 周年記念事業（文化振興課）【 37,511 千円】
・デジタルデバイド解消事業（デジタル変革課）【 4,921 千円】
・県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【 0 千円】
・国際交流推進事業（ふくしまグローバル人材育成事業）（国際課）【 396 千円】
・男女共生センター管理運営委託事業（啓発及び研修事業）（共生社会・女性活躍推進課）【1,764 千円】
・消費者行政体制強化事業（消費者教育事業）（消費生活課）【 54,452 千円】
・カーボンニュートラル推進事業（福島県地球温暖化防止活動推進センター事業）（環境共生課）【 14,920 千円】
・アカデミアシーズ創出事業（産業振興課）【 41,592 千円】
・離職者等再就職訓練事業（産業人材育成課）【 423,907 千円】
・ジョブ・カードの普及啓発（産業人材育成課）【 0 千円】

○新規事業

・教育・研究・交流事業（公開講座）（生活環境総務課）【 0 千円】
　放射線や地球温暖化、カーボンニュートラル等について、公開講座を開催する。（他の事業と一括して事業実施）

○一部新規事業

・意識改革推進事業（雇用労政課）【 39,795 千円】
　攻めの働き方改革を推進するための伴走支援を実施。トップセミナーを開催し「攻めの働き方改革加速宣言」。

（2）若い世代の「生きる力」を育む学びの推進

○継続事業

・ふくしまで働く医療関連産業次世代人材育成事業（医療関連産業集積推進室）【 39,807 千円】
・ふくしま旬の食材等活用推進事業（農産物流通課）【 51,009 千円】
・地域学校協働本部事業（地域学校協働活動補助事業）（社会教育課）【 77,604 千円】
・ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト（情報発信プロジェクト）（社会教育課）【 1,060 千円】
・インターンシップによるキャリア教育充実事業（高校教育課）【 396 千円】

○新規事業

・教育・研修・交流事業（環境創造センター附属施設環境学習会等事業）（生活環境総務課）【 7,969 千円】
　本県の野生生物等の自然環境や猪苗代湖等の水環境の保全のために主体的に行動できるよう学習会を開催
・教育・研修・交流事業（コミュタンサイエンスアカデミア）（生活環境総務課）【 0 千円】
　「放射線や本県の環境等」を学ぶ小中学生向けサイエンスクラブを開講する。（他の事業と一括して事業実施）
・情報収集・発信事業（環境創造センター四機関連携講座）（生活環境総務課）【 0 千円】
　放射線・環境問題について理解を深めるため、四機関が連携し出張講座を実施する。（自主事業で実施）
・教育・研修・交流事業（環境創造センター研究体験講座）（生活環境総務課）【 2,376 千円】
　環境創造センター研究員等が、県内高校生を対象とした研究体験講座を実施する。
・ふくしま未来創造プログラム（社会教育課）【 88,440 千円】
　子どもたちが、震災の記憶を学び、困難に立ち向かってきた人々の思いにふれる活動を行う。

○一部新規事業

・不登校・いじめ等対策推進事業（人権教育推進事業）（義務教育課）【 154 千円】
　学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な取組を推進

（3）支援が必要な方の学びの推進

○継続事業

・障がい者スポーツ振興事業（スポーツ課）【 21,359 千円】
・ともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業（スポーツ課）【 9,352 千円】
・多文化共生推進事業（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業）（国際課）【 15,250 千円】
・多文化共生推進事業（多文化共生きずな促進事業）（国際課）【 8,994 千円】
・点字図書館の管理運営（障がい福祉課）【 47,102 千円】

○新規事業

・オリンピック・パラリンピック・デフリンピックレガシー事業（スポーツ課）【 10,604 千円】
関係団体と連携したイベント等を開催

○一部新規事業

・ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業（特別支援教育課）【 39,374 千円】
就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制の整備と研修の充実を図る。

（4）心身の健康づくりに向けた学びの推進

○継続事業

・みんなで実践 チャレンジふくしま県民運動推進事業（文化振興課）【 29,855 千円】
・スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業（スポーツ課）【 12,870 千円】
・食の安全・安心推進事業（消費生活課）【 74,499 千円】

○新規事業

・ふくしま健民アプリ市町村連携事業（健康づくり推進課）【 40,700 千円】
PHR 機能、AI による健康づくりアドバイス機能を実装し、利用者の行動変容を促すアプリとする。
・ICT 活用による健康づくり動機付け事業（健康づくり推進課）【 17,427 千円】
県民個人の健康づくりへの関心を高められるよう、SNS 等を活用して効果的に周知啓発を実施する。

施策２　地域づくりにつながる学びの推進

＜施策の方向＞
（１）地域コミュニティの活性化
（２）地域への誇りと愛着を育む学びの推進

令和７年度の主な取組

（１）地域コミュニティの活性化

◆　ふるさと・きずな維持・再生支援事業（ＮＰＯ・企業等との連携・協力事業）（文化振興課）【 5,249 千円】

復興・被災者支援活動や地域課題に取り組んでいるＮＰＯ法人と、それらの社会貢献活動に関心のある支援者が、課題解決のため互いのニーズ・シーズを共有するマッチングの場を提供することで、協働事業の推進を図る。

○情報収集・発信のためのＮＰＯ・企業等訪問　53 件
○伴走支援（相手方の紹介や打合せの場の準備、助言等）　30 件
○マッチング事業の広報（HP）、事例紹介
○令和７年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業成果報告・協働推進トークセッション in ふくしまを開催（R8.2.6）参加者数　80 名
○モデルケース　2 件

◆　ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業（多様な担い手確保支援事業）（農業担い手課）【 104,224 千円】

高齢化等による農業就業者の減少に対応するため、就農ポータルサイト等によるＰＲ、県内外での就農者確保に向けた推進活動や農業法人等での実習生受入、雇用マッチングの他、経営者向け人材確保・育成支援や新規就農者の定着促進の取組を行う。

○就農ポータルサイト等によるＰＲ　ＰＶ数：218,852
○農業法人等での実習生受入　21 名、うち 17 名がそのまま直接雇用

◆　地域でつながる家庭教育応援事業（社会教育課）【 936 千円】

本県の家庭教育推進上の大きな課題である「親の学び」を支援するために、PTA と連携し、家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するよう企業と連携した地域の家庭教育の推進や親子の学びを応援する講座を行う。また、各地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムの活用を進めるとともに、地域で子育てをする親を支援する家庭教育支援者の養成・育成をする研修会を行う。さらに、行政機関や福祉機関と連携しながら、子育てや家庭教育を応援する「家庭教育支援チーム」の設置を促進する。

○親子の学び応援講座
・県北教育事務所　10 月 30 日　参加　459 名
〃　11 月 13 日　参加　310 名
〃　11 月 26 日　参加　172 名
・県中教育事務所　10 月 25 日　参加　303 名
・県南教育事務所　10 月 17 日　参加　25 名
〃　11 月 29 日　参加　190 名
・会津教育事務所　7 月 10 日　参加　70 名
〃　7 月 11 日　参加　530 名
・南会津教育事務所　7 月 11 日　参加　75 名
・相双教育事務所　11 月 5 日　参加　85 名
・いわき教育事務所　7 月 11 日　参加　197 名
他　1 団体　対面講座中止→配布資料にて代替措置
○福島県家庭教育支援チーム　登録数 35 チーム

◆　**ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業（高校教育課）【 32,718 千円】**

若年層の県内還流及び定住を促進するため、各県立高校での地域協働による地域課題探究活動の更なる推進に向け、校内体制及び地域との連携体制の構築を行う。

・県内 7 地域に、地域ネットワーク推進委員を配置し、各校の地域課題探究活動を支援。
・地域に関わる仕事に携わる地域人材や若手人材に関するＩＣＴ教材（動画やテキスト等のコンテンツ）を制作することにより、高校生が各自の探究学習において、時間や場所の制限がなく、いつでも学びを深められるように支援。
・ふくしま高校生社会貢献活動コンテストを、9 月 14 日にラコパふくしまにて開催。エントリーした 31 グループ中、予選（書類審査）を通過した 12 グループが出場。
・全県立高等学校へ、各校の地域課題探究活動のための予算を配分し、地域人材や若手人材を活用した学習を支援。
・教頭及び探究学習担当教員を対象に、持続可能な探究学習のカリキュラム構築のための研修会を実施。

（2）地域への誇りと愛着を育む学びの推進

◆　**「地域のたから」民俗芸能総合支援事業（文化振興課）【 17,839 千円】**

震災により被災した民俗芸能等の継承・発展のため、担い手の意欲を高める公演の機会を提供するとともに、民俗芸能団体に専門家を派遣するなどの各団体の実情に応じた支援を行う。

【民俗芸能公演事業】
①R7.8.11　楽しいオーケストラ in 福島　　1 団体出演
②R7.10.11　ふたばワールド in かわうち　　1 団体出演
③R7.10.25～26　ふるさとの祭り 2025in なみえ　　18 団体出演
④R7.11.15　デフリンピックサテライト開会式　　1 団体出演

【民俗芸能復興サポート事業】
①民俗芸能個別訪問　　52 団体を訪問
②研修会、活動報告会　　研修会 4 回、報告会 1 回
③小学校との連携活動　　3 校にて実施

◆　**ニュースポーツによる高齢者の健康づくり支援事業（健康づくり推進課）【 1,715 千円】**

誰もが気軽に取り組み、楽しむことができるニュースポーツにより、高齢者に運動習慣を定着させるとともに、社会参加の機会を増やし、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、地域コミュニティづくりを促進し、介護予防につなげる。

〇ニュースポーツ大会の開催（囲碁ボール、スカットボール、ボッチャ）
〇7 月から 10 月に県内 6 地区（県北・県中・県南・会津・南会津・浜通り）で地区大会を開催し、各地区の代表チームで 10 月にチャンピオン大会を開催した。
（参加者数　1,193 名）
〇随時、ニュースポーツ用具を貸し出し、普及啓発活動を実施。

◆　**地域学校協働本部事業（復興に向けた学びを通じた協働のまちづくり事業）（社会教育課）【 64,924 千円】**

震災後の子どもたちを取り巻く環境の変化に対応するため、地域と学校等が相互に連携・協働を進め「協働のまちづくり」を推進するとともに、復興に向けた学習や活動を通して、地域住民をつなぎ、被災者の孤立化と震災の風化を防ぐ事業を展開する。

〇地域学校協働活動　実施市町村　14 市町村　1 NPO 法人
〇家庭教育支援活動　実施市町村　1 市町村

令和８年度の取組予定

（1）地域コミュニティの活性化

○継続事業

・県民カレッジ推進事業（生涯学習課）【 0 千円】〔再掲〕
・ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業（多様な担い手確保支援事業）（農業担い手課）【 88,175 千円】
・地域でつながる家庭教育応援事業（社会教育課）【 2,481 千円】

○新規事業

・地域共創による高校生の探究的な学び推進事業（高校教育課）【 59,418 千円】
探究ポータルサイトの活用、「探究 EXPO」の開催による高校生が取り組む探究学習の成果発表など

○一部新規事業

・ふくしまの元気を創る地域産業６次化推進事業（ふくしま６次化人材育成事業）（農林企画課）【 10,000 千円】
既存の「６次化創業コース」、「６次化発展コース」に加え、稼ぐ力を養成する「販路開拓コース」を設置

（2）地域への誇りと愛着を育む学びの推進

○継続事業

・地域創生総合支援事業（地域振興課）【 869,783 千円】
・「地域のたから」民俗芸能総合支援事業（文化振興課）【 20,225 千円】
・ニュースポーツによる高齢者の健康づくり支援事業（健康づくり推進課）【1,715 千円】
・ふくしまの次代を担う新規就農者支援事業（青年農業者等活動支援事業）（農業担い手課）【 2,599 千円】
・「ふくしまの農育」推進事業（農村振興課）【 3,353 千円】
・地域学校協働本部事業（復興に向けた学びを通じた協働のまちづくり事業）（社会教育課）【 108,852 千円】
・学校給食における地場産物の活用応援事業（健康教育課）【 0 千円】

○新規事業

・猪苗代湖子ども大使事業（自然保護課）【 8,717 千円】
小学生を琵琶湖に派遣。事前学習や実践的な取組、交流を通じて、猪苗代湖の価値や魅力を深く学ぶ。
・水産業再生推進総合対策事業（経営体復興促進事業）（水産課）【 23,012 千円】
小中学生等を対象に、漁業体験や流通加工体験、有識者・漁業者による講演会等を開催する。

施策３　東日本大震災及び原子力災害の記憶と教訓の伝承

＜施策の方向＞
（１）東日本大震災等の経験や教訓の伝承と防災教育の推進
（２）伝承館による記憶と教訓の伝承

令和７年度の主な取組

（１）東日本大震災等の経験や教訓の伝承と防災教育の推進

◆　そなえるふくしま防災事業（危機管理課）【 56,440 千円】

東日本大震災の教訓と経験を踏まえ作成した「そなえるふくしまノート」等を活用し、広く県民に対し、災害や災害の対応について、防災出前講座などの「学び」「体験」し、「考える」機会を通じ、防災意識の深化と定着を図り、県民の防災意識の高揚（「自助」）を促すとともに地域で助け合う（「共助」）精神の醸成を図る。

○防災啓発推進事業
・防災出前講座　94 団体（105 回）、4,521 名に実施
・防災士を活用した防災講座　61 回、1,218 名に実施
・市町村イベント・防災訓練等への出展　23 回
・危機管理センター見学　63 団体、1,183 名に実施
○防災ＤＸ推進事業
・県民の適切な避難行動を支援する防災アプリの機能拡充や普及のための広報を実施。
ダウンロード数：125,395 ダウンロード

◆　震災・原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業（ジャーナリストスクール開催事業）（生涯学習課）【 7,417 千円】

福島県の子どもたちが、県内で復興・再生に邁進している団体等に対して取材を行い、震災の経験や教訓、復興に向けての取組を学び、発信することにより、ふるさとへの愛着心を育むとともに、ふくしまの復興を広く国内外に発信する。

○日時　８月　７日（木）開校式・取材　　東日本大震災・原子力災害伝承館、相双地区
８月 10 日（日）～11 日（月・祝）新聞作成　郡山市青少年会館
８月 16 日（土）発表会・閉校式　　郡山市市民交流プラザ（ビッグアイ）
○受講生　県内の小学５年生～高校生　39 名
○発表会参観者　117 名
○特別講師　池上彰氏

◆　次世代へつなぐ震災伝承事業（生涯学習課）【 22,436 千円】

語り部団体等のネットワーク化や、人材育成、県外等への語り部派遣を行うことで、語り部等の持続的な活動の仕組みづくりに取り組み、次世代への震災の記憶と教訓の伝承につなげていく。

○ネットワーク化・レベルアップ
(1) ふくしま語り部ネットワーク会議
ア　第１回会議　令和７年５月 15 日　出席 21 団体
イ　臨時総会　　令和７年７月２日　　出席 ９団体
ウ　第２回会議　令和８年２月７日　　出席 14 団体
(2) ふくしま震災伝承者交流会
令和７年 12 月９日　富岡町文化交流センター学びの森（50 名参加）

○人材育成
(1) 伝承者育成プログラム検討プロジェクトチーム（PT）会議
ア　第１回会議　令和７年７月２日　PT 委員７名出席（全員参加）
イ　第２回会議　令和８年１月 23 日 PT 委員名６名出席
(2)伝承者育成講座・中国語講座
ア　第１回講座　令和７年７月 19 日 18 名、中国語１名
イ　第２回講座　令和７年９月 27 日・28 日（１泊２日）　16 名、中国語１名（聴講者１名）
ウ　第３回講座　令和７年 11 月 29 日７名、中国語１名
エ　第４回講座　令和８年２月７日９名、中国語１名
(3)伝承者育成英語講座
ア　第１回講座　令和７年７月 19 日 受講者４名
イ　第２回講座　令和７年９月 27 日（オンライン）受講者３名
ウ　第３回講座　令和７年 11 月１日（オンライン）受講者３名
エ　第４回講座　令和７年 12 月６日（オンライン）受講者４名
オ　第５回講座　令和８年２月７日　受講者４名
(4) ３．１１被災地視察研修
宮城県東松島市　10/9～10/10　参加者 18 名
○語り部派遣
(1)県内派遣
県内の小中学校・義務教育学校、各県立・私立学校に対し、公文書により、語り部（団体）の積極的な活用を依頼（令和７年６月 30 日付け）
(2)県外派遣
派遣件数 59 件、聴講者数 5,136 人

◆　東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業（社会教育課）【 2,797 千円】

被災地域の図書館及び公民館図書室が行う、学校図書館支援活動や地域住民の学習環境を整えるため、地域を知り、支えるための資料を収集し、移動図書館（あづま号）による巡回貸出を行う。

○巡回先町村　８町村（楢葉町、富岡町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村、広野町、大熊町）
○貸出冊数　5,236 冊

◆　震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業（高校教育課）【 7,052 千円】

震災と復興に関する地域課題探究活動を通して、福島における震災、復興、そして未来について、自分の考えを持ち、自分の言葉で語ることのできる「高校生語り部」を育成する。この学びの過程で、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、県内外及び海外の高校生等との交流を通して、震災に関わる風化防止、風評払拭につなげる。

○実践校を 13 校指定。各校とも計画に基づき福島における震災、復興について情報発信したり交流活動を行ったりした。
○7 校が海外、県外の高校生らと交流活動を実施。（相馬、福島、安積、あさか開成、磐城、相馬総合、いわき翠の杜）
○伝承館での教員研修を、小中学校は８月６日及び９月 11 日に、高校は 11 月 19 日に実施。
○1 月 19 日に双葉町産業交流センター及び県伝承館において実践校 13 校の代表生徒による「語り部交流会」を実施。

◆　**WWLコンソーシアム構築支援事業（高校教育課）【 9,961 千円】**

福島における原子力災害からの復興を果たし、持続可能な社会を創造していくグローバル・リーダーの資質・能力の育成に取り組む福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校を事業拠点校に指定し、探究と海外研修を軸とし、また、大学と連携したグローバル人材育成のカリキュラムの開発・実践、その体制整備を支援する。県内外におけるグローバル人材育成を担う連携校や海外の連携校や国際機関等とも目的と情報を共有し、ネットワークを形成していく。

・ふたば未来学園中学校・高等学校を事業拠点校に、県内事業連携校５校と県外事業連携校２校や事業協働機関と福島アドバンスト・ラーニング・ネットワークを形成。
・事業拠点校における探究を軸とし、海外研修を体系的に位置づけたカリキュラム開発。
・事業拠点校と事業連携校の取組の共有。
・ＮＰＯ法人カタリバと連携したカリキュラム開発の教員研修会の実施。
・東北大学と連携し、東北大学の「学問論演習」の受講、成果発表会への参加。探究活動への専門的助言。
・福島県 WWL 高校生国際サミットを８月に開催。

（２）伝承館による記憶と教訓の伝承

◆　**東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業（生涯学習課）【 425,024 千円】**

東日本大震災・原子力災害伝承館の効率的な運営を図る。
・複合災害に関する資料の収集、保存、展示及び利用に関すること
・複合災害に関する専門的な調査研究に関すること
・複合災害に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること
・複合災害の経験及び教訓を学習する機会の提供に関すること

○資料収集（保存）、展示（プレゼンテーション）
　・981 点の資料を収集
　・企画展示は２回実施、他県での巡回展示は 10 回実施
○調査・研究
　・令和７年 12 月　調査・研究部門の活動報告会を開催
　・令和８年３月　研究者を集めて学術研究集会を開催
○学習機会の提供（研修）
　・一般研修プログラム　297 団体 12,640 名が受講
　・館長及び上級研究員による専門講座　10 団体 192 名が受講

◆　**東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業（生涯学習課）【 29,347 千円】**

県内外の小中高の児童・生徒が東日本大震災・原子力災害伝承館を活用して行う学習活動に対し支援する。

・バス補助（県内中学校のみ）　延べ 68 校、バス 158 台、人数 5,214 人（生徒及び引率者）
・入館料補助（小中高）県内 8,956 人、県外 10,365 人、障がい者付添人 325 人
・申請サポート（窓口）業務委託
・震災等関連学習成果発信業務委託

令和８年度の取組予定

（1）東日本大震災等の経験や教訓の伝承と防災教育の推進

〇継続事業

・震災・原発災の経験・教訓、復興状況伝承事業
（ジャーナリストスクール開催事業）（生涯学習課）【 7,717 千円】
・水害・土砂災害に関する防災教育を支援する出前講座（河川計画課）【 0 千円】
・東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業（社会教育課）【 2,914 千円】
・福島イノベーション人材育成事業（高校教育課）【 43,412 千円】
・福島イノベーション人材育成支援事業（高校教育課）【 30,714 千円】

〇新規事業

・そなえるふくしま推進事業（危機管理課）【 37,739 千円】
福大生と連携し、県内外の視察を通して若者視点から防災を発信。「そなえるふくしま」の開催

〇一部新規事業

・ロボット・航空宇宙フェスタふくしま開催事業（次世代産業課）【 55,524 千円】
事前マッチングによる商談の促進、若年層に向けた体験型展示やセミナー等の開催

（2）伝承館による記憶と教訓の伝承

〇継続事業

・東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業（生涯学習課）【 422,937 千円】
展示の更新、パネル展の開催、語り部講話・研修・フィールドワーク等の充実
・東日本大震災・原子力災害伝承館学習活動支援事業（生涯学習課）【 27,841 千円】
伝承館＋１か所以上の訪問と、アウトプットによる学びの深化

施策４　社会の変化等に対応した学びやすい環境づくりの推進

＜施策の方向＞
（１）ICT の活用と学習情報の提供
（２）学習成果の発表と活用の場の提供
（３）関係機関等の連携・強化

令和７年度の主な取組

（１）ICT の活用と学習情報の提供

◆　デジタルデバイド解消事業（デジタル変革課）【 2,455 千円】〔再掲〕

高齢者の情報活用能力の習得・向上を支援し、ICT を活用した地域活性化の促進を図るため、市町村や会津大学、関係機関と協力して地域の高齢者のデジタルデバイド解消に向けた情報リテラシー向上教室を行う。

・スマホ教室を 15 町村計 29 回開催
・デジタルサポーターを 5 市町計 39 名認定

◆　生涯学習課ニューズレター発行（生涯学習課）【 0 千円】

生涯学習に関する情報をまとめた「生涯学習課ニューズレター」を年２回作成し、本課ホームページに掲載するとともに各市町教育委員会や他関係機関等に送付する。

○　第 18 号　富岡町図書館　令和７年８月発行
○　第 19 号　楢葉町大地とまちのタイムラインと東大教室　令和７年８月発行
○　第 20 号　一般社団法人ヒトトキト（矢吹町）　令和７年 12 月発行
○　本課ＨＰ及びふくしまマナビｉ（ｱｲ）に掲載

◆　学びあう生涯学習社会形成事業（生涯学習課）【 1,328 千円】

福島県生涯学習情報システム（ふくしまマナビｉ（アイ））の保守及び機能充実を図り、講座を主催する市町村等が学習者のニーズに応じた魅力ある講座を県民に提供することにより、県民の学習参加と成果活用の促進し、自己実現と地域発展を支える本県生涯学習社会の実現を図る。

○福島県生涯学習情報システム（ふくしまマナビｉ（アイ））に、新たに、①講座年度管理機能、②講座別受講者アンケート集計機能、③ユーザー管理機能を搭載し、県内の生涯学習関連情報の提供を行った。
○運用状況（令和７年３月末現在の累計）
・ アカウント付与数
　市町村　309、県　103、民間教育施設・高等教育機関・民間企業　68
・ 登録団体数
　市町村　59、県　16、民間教育施設・高等教育機関・民間企業　57
・ 講座・イベント登録数　12,538 件（公開 2,787・非公開 9,751）
・ 動画登録数　382（庁内・民間教育施設等）
・ 施設登録数　481（公開 469　非公開 12）
・ 講師情報　499（公開 442　非公開 57）

◆　**建設 DX 推進事業（技術管理課）【 65,957 千円】**

県内の建設業就業者は、55 歳以上の割合が全国平均・全産業平均より高く、次世代への技術継承が大きな課題となっていること、また、令和 6 年 4 月より建設業における時間外労働の上限規制が適用されたことから、建設産業における働き方改革、生産性向上を進めるため、技術者・施工業者の人材育成、ＩＣＴ活用のための環境整備及び建設生産・管理システムのＤＸ化に取り組む。

・デジタル技術活用人材育成講習会を 8 回開催
・業界団体主催デジタル技術活用人材育成研修等への補助を 2 団体へ実施
・専門家によるＩＣＴ活用技術支援を 5 企業へ実施
・建設ＤＸ加速化補助金事業を 16 企業へ実施
・建設バックオフィスＤＸ推進補助金事業を 31 企業へ実施
・電子納品保管管理システムの改修事業を実施
・公共土木施設データベースの構築

（2）学習成果の発表と活用の場の提供

◆　**県展開催事業(文化振興課)【 25,128 千円】**

県内在住者及び県出身者から美術作品を公募し、一般に展覧することにより本県美術の振興を図る。

○第 79 回福島県総合美術展覧会
・会期　令和 7 年 6 月 26 日（木）～29（日）
・会場　パルセいいざか（福島市飯坂温泉観光会館）
・部門　5 部門（日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書）
・出品数　627 点（うち公募 565 点）　※陳列作品数は 392 点

◆　**福島県芸術祭（文化振興課）【 1,000 千円】（負担金）**

県民による文化の公演発表等の促進、県民への芸術鑑賞機会の提供及び芸術文化団体等の活動促進を図るため、福島県芸術祭を開催する。

第 64 回福島県芸術祭
○開幕式典・開幕行事（重点地区：県南）
・日程　令和 7 年 9 月 7 日（日）
・会場　矢吹町文化センター　大ホール
・テーマ　「文化の輪　伝統の光を　未来へ　in やぶき」
○芸術祭参加行事数　127

◆　**声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【 19,198 千円】**

「合唱王国ふくしま」として知られる本県の合唱活動の更なる発展を図るため、継続的に全国規模のコンクールを開催することにより、「合唱王国ふくしま」を全国に発信し、「合唱＝ふくしま」というイメージを定着させる。

○第 19 回大会の開催
・開催日程　令和 8 年 3 月 19 日（木）～22 日（日）
・開催場所　ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）
・部門　4 部門（中学生、高等学校、小学生・ジュニア、一般）
・出場団体　132 団体　　入場者数　4,857 名

◆　**文学賞実施事業（文化振興課）【 4,051 千円】**

県民から文学作品を公募し、成果発表の機会を提供するとともに優秀作品を顕彰することにより、本県文学の振興と地域文化の進展を図る。

○第 78 回県文学賞
・作品募集
①部門　5 部門（小説・ドラマ、ｴｯｾｰ・ﾉﾝﾌｨｸｼｮﾝ、詩、短歌、俳句）
②応募状況　298 点（前年度は 250 点の応募），青少年の部で 68 点増加
メール応募での割合が増加（前回 43%，今回 64%）
・表彰
①賞の種類　部門毎に文学賞、準賞、奨励賞、青少年奨励賞を決定
②表彰式　令和 7 年 11 月 3 日（文化の日）、杉妻会館
・作品集の発行及び販売
受賞作品を収録した県文学集を令和 8 年 3 月に発行

◆　ジョブ・カードの普及啓発（産業人材育成課）【 0 千円】〔再掲〕

委託訓練受講者等へのジョブ・カードの作成支援及び普及啓発を行う。

○ジョブ・カード作成支援件数
・委託訓練　890 件　・学卒訓練　96 件
○令和 6 年度実績
・委託訓練　925 件　・学卒訓練　57 件

（3）関係機関等の連携・強化

◆　市町村社会教育指導員研修会（社会教育課）【 0 千円】

社会教育指導員として社会教育関係事業の企画・立案・実施など、地域の実態に応じた活動上の諸問題についての研究協議等を行い、指導員としての資質向上を図る。

○第 1 回研修会　5 月 16 日（金）　郡山市立中央公民館　84 名参加

◆　市町村社会教育担当者研修会（社会教育課）【 57 千円】

公民館職員等 3 年以上の経験のある社会教育行政担当者、社会教育主事任用資格取得者、社会教育士のリカレント教育として、「人づくり、つながりづくり、まちづくり」に向けた専門的・実践的な研修を行う。

○日時・場所・参加者
7 月 30 日(水)　オンライン　40 名
7 月 31 日（木）　郡山市労働福祉会館　29 名

◆　公民館職員研修会（社会教育課）【 32 千円】

公民館初任者を対象に、基礎的・基本的な知識の習得や技術的・実践的な研修を行う。

○日時・場所・参加者
5 月 29 日（木）　オンライン　60 名
6 月 3 日（火）　郡山市労働福祉会館　59 名

◆　美術館企画展開催経費（社会教育課）【 48,367 千円】

企画展を開催し、県民の観覧に供する。

○THE 新版画（4/1～5/25）　総入館者数　5,964 人
○福島アートアニュアル（6/7～6/29）　総入館者数　2,112 人
○金曜ロードショーとジブリ展（7/19～9/28）　総入館者数　212,796 人
○生誕 140 年 竹久夢二のすべて（10/18～12/14）　総入館者数　14,698 人
○大ゴッホ展　夜のカフェテラス（2/21～3/31）　総入館者数　123,408 人

令和８年度の取組予定

（1）ICT の活用と学習情報の提供

○継続事業

・生涯学習課ニューズレター発行（生涯学習課）【 0 千円】
・学びあう生涯学習社会形成事業（ふくしまマナビｉ（アイ））（生涯学習課）【 432 千円】
・デジタルデバイド解消事業（デジタル変革課）【 4,921 千円】〔再掲〕

○新規事業

・建設業の魅力・やりがい創出支援事業（土木企画課・技術管理課・建設産業室）【 57,000 千円】
　講習会の開催、デジタル活用の促進のほか、若者・女性等の重機シミュレーター体験の機会創出

（2）学習成果の発表と活用の場の提供

○継続事業

・県展開催事業（文化振興課）【 18,967 千円】
・福島県芸術祭開催（文化振興課）【 1,000 千円】（負担金）
・文学賞実施事業（文化振興課）【 4,237 千円】
・声楽アンサンブルコンテスト全国大会（文化振興課）【 19,358 千円】
・ジョブ・カードの普及啓発（産業人材育成課）【 0 千円】〔再掲〕

（3）関係機関等の連携・強化

○継続事業

・国際芸術鑑賞事業（文化振興課）【 2,059 千円】
・ふくしま海洋科学館利用料金免除補助事業（生涯学習課）【 41,112 千円】
・多文化共生推進事業（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業）（国際課）【 11,860 千円】〔再掲〕
・水害・土砂災害に関する防災教育を支援する出前講座（河川計画課）【 0 千円】〔再掲〕
・市町村社会教育指導員研修会（社会教育課）【 2 千円】
・市町村社会教育担当者研修会（社会教育課）【 111 千円】
・公民館職員研修会（社会教育課）【 92 千円】
・美術館運営事務経費（社会教育課）【 251,251 千円】
・博物館企画展経費（社会教育課）【 35,809 千円】
・美術館企画展経費（大ゴッホ展等）（社会教育課）【 46,330 千円】